

# アグリ筑西

## 2023年6月号



梅雨の季節になりました。蒸し暑い日も多いので熱中症には十分注意しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)  
筑西地域農業改良推進協議会 発行  
Tel : 0296(24)9214  
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑



## 筑西4Hクラブ協和支部が「こだまスイカPR会」を開催しました！



ゴールデンウィーク後半の5月6日（立夏、こだまスイカの日）に、筑西市の農業後継者クラブ「筑西4Hクラブ協和支部」が、つくば市の商業施設「イーアスつくば」にて、こだまスイカPR会を4年ぶりに開催しました。当日はクラブ員4名が参加し、試食やパンフレットの配布によるPRを行うとともに、筑西市産のこだまスイカやイチゴ、ナス、葉タマネギの即売会も行いました。



クラブ員は、自分達の農産物栽培のこだわりを紹介し、丹精込めて生産したこだまスイカやイチゴ等の農産物を積極的に消費者へ売り込みました。

当普及センターでは、今後も地域の若手農業後継者が主体となったクラブ活動や地域農業の活性化につながるPR活動を支援していきます。

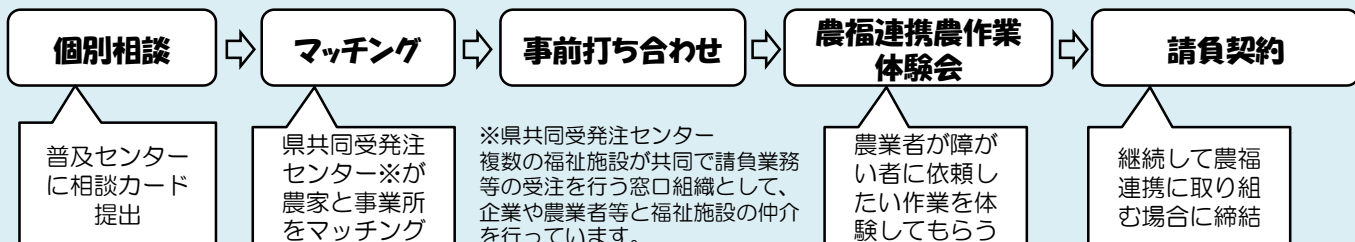
## 農福連携に取り組んでみませんか？

農福連携とは、農業と福祉の連携により、双方の課題解決を目指す取り組みです。高齢化や担い手不足が課題である農業においては、障がい者を受け入れることで労力を確保できるだけでなく、生産工程や作業体系を見直す良い機会になると思われます。

5月には、ネギの調製、カンショ苗の定植、除草作業といった農福連携農作業体験会が開催されました。農業者の方からは「熱心に作業をしてもらえた」というような声も聞かれました。農福連携に興味がある方は、普及センターまでお問い合わせください。（写真はネギの根をハサミで切っている様子。）



### ○農福連携農作業体験会までの流れ



# カラスムギの防除を行いましょ

茨城県では、令和3年度から県農業研究所や麦の産地のある普及センターの職員を構成員とする技術体系化チームを設置して「麦類栽培における難防除雑草カラスムギ防除技術の確立」を目指しています。

防除技術確立としては道半ばですが、現段階の成果として「防除暦」と「マニュアル」が県農業総合センターHPで公開されています。QRコードよりご確認ください。

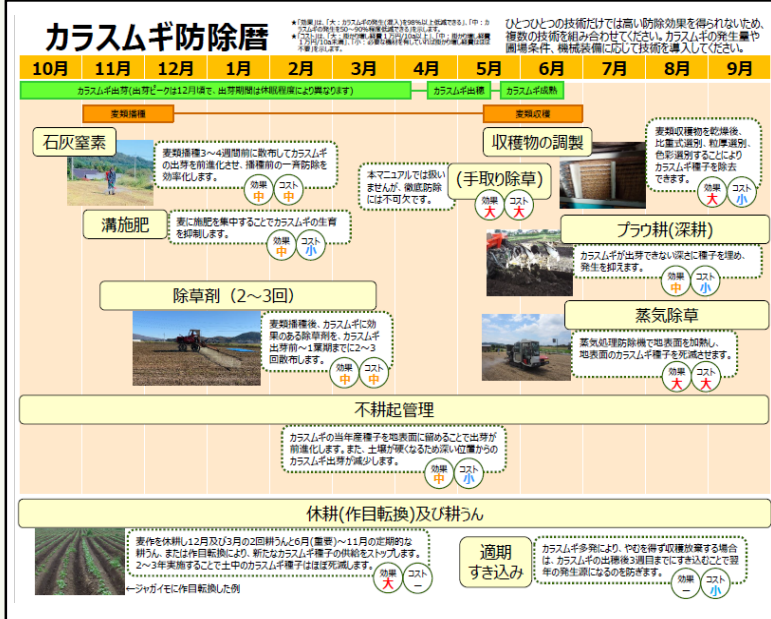
カラスムギ防除暦



カラスムギ防除マニュアル  
「麦圃場におけるカラスムギの防除技術」



↓アクセスすると防除に関する資料がご覧になれます



防除に取り組むにあたっては、以下の3点に注意して、カラスムギの発生量や圃場条件、機械装備に応じて技術を導入しましょう。

- ①実施可能な複数の技術を組み合わせ、合わせて実施しましょう。
- ②徹底防除に不可欠な基本の「手取り除草」を行いましょ。
- ③発生程度が甚大な場合は、休耕・定期的耕うん、野菜等への作物転換も検討しましょ。

## 令和5年度農業学園生 募集しています！

農業学園とは、就農して間もない農業者の方を対象に、これからの農業経営に必要な技術や知識を学ぶ場や新規就農者同士の情報交換、仲間づくりの場を提供するため、県西農林事務所経営・普及部門が開催する講座のことです。

**【対象者】**  
就農して間もない農業者  
(就農地が筑西市・桜川市・下妻市)  
(例) 概ね就農1~5年目の方、Uターン就農  
新規参入者、雇用就農者など

**【受講料】 無料**

時期	研修内容	備考
6月	開講式+先輩農業者に学ぶ会	農業三土の圃場見学および意見交換
7月	土づくり講座	県西広域講座 (オンライン受講可)
8月	病害虫・農薬安全使用講座	県西広域講座 (オンライン受講可)
9月	農作業機械講座	県西広域講座 (現場研修)
1月	地区プロジェクト発表会	後継者クラブ員によるプロジェクト活動の報告
3月	閉講式+先輩農業者に学ぶ会	農業三土の圃場見学および意見交換
未定	特別講座	受講生の要望により開催



ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。  
 ( 県西農林事務所経営・普及部門 高橋・友部 )  
 TEL : 0296-24-9214